



2007年4月4日

～日本新興市場成長株オープン 取扱開始～

投資信託銘柄追加のお知らせ

楽天グループのインターネット・トレーディング専門の証券会社、楽天証券株式会社（代表取締役社長：楠 雄治、本社：東京都港区）は、4月4日（水）約定分より、投資信託1銘柄を追加いたします。今回の追加により、当社取扱い銘柄数は76銘柄となります。

また、当社では1月29日（月）～4月27日（金）15：00までの期間中に楽天証券が指定する投資信託をお買い付けいただいたお客様の中から毎月抽選で50名様に楽天証券ポイント10,000ポイントをプレゼントする「投資信託ビッグチャンスキャンペーン」を実施いたしております。当該銘柄は、キャンペーン該当商品に追加されます。

背景と目的・狙い

2006年1月の「ライブドア・ショック」から一年が経過しましたが、インターネット関連銘柄などが急落した新興株式市場では現在まで、依然相場低迷が続いています。2006年11月以降、戻り基調にあるとはいえ、相場が本格的に回復に向かうには、なお時間がかかるとの見方は強く残っています。

その背景として、ライブドア・ショック直前に比べ日経平均株価が上昇したのとは対照的に、日経ジャスダック平均株価の4月3日終値は約27%下落し、マザーズ、ヘラクレスの指数に至っては半分以下にとどまっていることがあげられます。

当社においても、ライブドア・ショックで教訓を得た個人投資家は新興市場に厳しい視線を注ぎ、資金の振り向ける先をBRICsや新興国を含めたグローバルな投資にシフトしているのが伺えます。

しかしながら、ジャスダック証券取引所が発表した投資主体別売買状況によると、1991年以来初めて、年間の個人投資家の買い越しとなっており、2007年3月の月間売買状況においても買い越し基調は続いています。これは、新興市場においても、銘柄を選別し買い意欲を失っていないということが見てとれます。

当社では、現在割安であると考えられる新興市場に着目した「日本新興市場成長株オープン」を取り扱うことにより、個人投資家の幅広いニーズに応えてまいります。

投資信託の特徴について

「日本新興市場成長株オープン」

1. 主として、日本の証券取引所上場株式に投資し、投資信託財産の成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。
2. 運用にあたっては、ジャスダック、東証マザーズ、大証ヘラクレス等の新興市場上場株式中心に投資を行います。
なお、新興市場以外の株式を組入れる場合は、取得時の株式時価総額が2,000億円以下の銘柄とします。
3. ボトムアップ・アプローチにより、利益成長が期待できる銘柄を選定します。
4. 投資銘柄の選定にあたっては、

独自の技術・サービスなどにより参入障壁が高く競争力を維持できる企業

新しいビジネスモデルの構築により成長を目指す企業

新しい市場を創造することにより成長を目指す企業

ニッチな市場で高いシェアを獲得することで高収益が期待される企業

などに注目し、株価水準などの評価も加えてポートフォリオを構築します。

（設定・運用 日本投信委託株式会社）